2月17日

横浜市立鴨居中学校区及び中学校　全体計画構造図

国や横浜市の方針

日本国憲法
学校基本法
学校教育法
同施行規則

新学習指導要領

横浜版学習指導要領

横浜教育ビジョン
横浜市教育課程編成の指針

学校教育目標

☆ 生徒が、自ら考えて行動する力を高めます。
☆ 生徒が、互いを認め合い、学び合う姿勢を大切にします。
☆ 生徒が、よりよい生き方を求めて努力することを支援します。

鴨居中への願い・思い

職員・生徒・保護者・地域

【知・徳・体】	【公・開】
やさしさ 思いやり 人間関係 生命の尊重 自主 自立 問題解決力 基礎学習	地域との関わり より良い環境 協調性 協力性 自他の尊重 奉仕・感謝

具体目標

(1)「自立」を支援するために
- 基本的生活習慣を身につけるよう努力します。『体』
- 基礎的、基本的な学習内容の定着を大切にします。『知』
- 課題解決的学習、体験的学習を多く取り入れた教育活動を展開します。『知』『公』『開』

(2)「共生」を支援するために
- 差別、偏見、いじめをなくすため、あらゆる機会を捉え「生き方の教育」を推進します。『徳』
- 生徒同士、生徒と教職員、生徒と保護者・地域の心のふれあいを重視し、豊かな人間関係を作るように努力します。『開』

(3)「向上」を支援するために
- 自主的な活動を行う場面を多く取り入れます。『開』
- 自他のよさや可能性を高める合うために、相互評価、自己評価の機会を多く取り入れます。『徳』

関連校の学校教育目標

横浜市立竹山小学校	横浜市立緑小学校
・自分の課題を持ち、その解決に向けて取り組もうとする子(知) ・自分や友だちのよさを認め合うことができる子(徳) ・自他の生命を大切にし、共に生きようとする子(体) ・地域の人やものを大切にし、共に生きようとする子(公) ・多様な文化を尊重し、社会に向かって広い視野を持とうとする子(開)	・基礎基本を大切にし、共に高め合おうとする子どもを育てます。(知) ・自分のよさを発揮し、他の人との違いを認め合うことができる子どもを育てます。(徳) ・心と体を鍛え、自分や他の人の生命を大切にする子どもを育てます。(体) ・わたしたちのまちを大切にし、共に生きる子どもを育てます。(公) ・社会の変化に対応しながら、よりよい環境を考えて行動できる子どもを育てます。(開)

小中一貫教育の柱
("生きる力"の育成に向けて共有すること

《義務教育9年間の連続性のある教育の推進》
基本的生活習慣と基礎学力を身につけた児童生徒の育成

道徳教育の重点目標

・望ましい生活習慣を身に付け、自主的に考え、自分の行動に責任を持つ態度を養います。 ・多くの人の支えにより現在の自分があることに感謝し、謙虚に他に学ぼうとする広い心を育みます。 ・生命の尊さを理解し、誰に対してもその人の良さを見いだしていく態度を養います。 ・社会の一員であるという自覚をもち、協力し合って、集団生活の向上に努める態度を養います。

横浜版学習指導要領　保護者・市民版

《横浜の子どもの姿》	横浜の子どもに期待する10の約束
《保護者の役割》	家庭で大切に育てていきたいこと
《市民の役割》	地域で大切にしていきたいこと

学年別目標（"横浜の子ども"を育んでいくための目標）

	学年		知（幅広い知識と教養）		徳（豊かな心情と道徳心）		体（健やかな体）		公（公共心と社会参加意識）		開（国際社会に寄与する開かれた心）	
中学校	3学年	特別支援	自らの目標を持ち、学び成長し続ける意識を育てます。		相手の人格を尊重し、社会生活における規律の遵守や、平和を愛し社会に貢献する資質を育てます。		自他の生命を尊重し、生涯にわたって健やかな体をつくろうとする態度を育てます。		社会の一員としての資質を身に付け、社会に貢献するために自らができることを考え実践しようとする		日本と世界の歴史や文化を積極的に学び、国際社会の発展のためにできることを考え実践しようとする態度を育てます。	
	2学年		基礎学力の向上を目指し、主体的に学ぶ姿勢を育てます。		人と人との関わりの中でお互いの個性を認め、一人ひとりを大切にする態度を育てます。		毎日の食生活を基本とする生活習慣を確立し、望ましい体作りについて自ら考え、実践する態度を育てます。		身近な体験活動を通して、地域社会の一員であることを自覚し、自らできることを考え行おうとする態度		体験活動を通して日本の伝統文化を積極的に学び、尊重する姿勢を育てます。	
	1学年		望ましい学習習慣を身に付け、興味・関心を持って課題に取り組む姿勢をそだてます。		集団生活のきまりを守り、礼儀正しい協調性のある態度を育てます。		心身の成長について理解し、健康な心と体を作ろうとする姿勢を育てます。		学級や生徒会活動を通して、自分の仕事を自覚し、責任を持って行おうとする姿勢を育てます。		身近な人間関係を通して、他者との違いや共通点を理解し、社会への視野を広げようとする態度を育てます。	
小学校	高学年	特別支援	・自ら課題を見つけよりよい方法により解決する。【竹】	・意欲的に学習に取り組むように、学びの集団や空間の多様化を進め、問題解決に向けてねばり強く取り組む姿勢を育てます。【緑】	・善悪を自分で判断して行動、生活をする。 ・自他の違いを知り、お互いを尊重しようとする。	・正しく善悪を判断し、社会のルールを守る規範意識や礼儀を大切にする態度を育て、自分と同じように、相手を尊敬する心や態度を育てます。【緑】	・自分の体を知り、健康な体作りに進んで取り組む。【竹】	・心と体の健康を守ることに関心を持ち、望ましい生活習慣を身につけ、自ら進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます。【緑】	・学校や地域の活動に積極的に参加し地域を大切にしようとする。【竹】	・保護者ボランティア、高齢者、学援隊の方々との交流活動を充実させ、地域に愛着がもてる子を育てます。【緑】	・仕事の出来事に対する考えを持ち、それを表現する。【竹】	・「よこはま」のよさや特徴を見つめ、よりよい環境について考え、行動できる子どもを育てます。【緑】
	中学年		・関心を持った課題に向けて自分なりの方法で解決しようとする。【竹】		・ルールやマナーを身につけて、それを生活に生かすことができる。 ・自他の違いに気付き、お互いを		・食生活や運動の大切さと健康のかかわりを知り体作りをする。【竹】		・地域社会の一員として人として地域行事や地域の人と関わろうとする。【竹】		・様々な人との関わりの中で自分の思いを表現しようとする。【竹】	
	低学年		・人の話をきちんと聞き、自分のめあてに向かって努力しようとする。【竹】		・きまりを守って生活する。【竹】 ・だれとでも仲良く生活する。【竹】		・元気よく遊んだり運動したりすることで、健康な体を作ろうとする。【竹】		・身近な人々や自然に親しみ、進んで関わろうとする。【竹】		・まわりの人々との関わりを持ち、いろいろなことに関心を持とうとする。【竹】	

具体的課題（"横浜の子ども"の姿の具現化に向けて重点的に育成する資質・能力）

	豊かな心の育成	健康でたくましい体の育成	国語力及び学習の基礎的能力の育成	コミュニケーション能力の育成	情報能力を生き抜く能力の育成	社会の変化に対応する能力の育成
中学校	・豊かな人権感覚、意識の育成 ・豊かな情操の育成 ・体験活動の充実 ○道徳の時間 ○自然教室 ○平和学習 ○修学旅行 ○伝統文化 ○山百合祭 ○職業体験 ○教育相談	・鴨居中学校健康、体育プラン ・体力づくり運動 ・命の教育 ○食教育 ○体育大会 ○部活動 ○保健だより	・国語科における言語活動 ・外国語体験活動の充実 ○合唱大会 ○学習相談 ○少人数制授業 ○TTによる授業 ○体育の種目選択制 ○特別支援	・外国語体験活動の充実 ・創作活動を通した伝えあい ・学校行事での異年齢交流等 ○宿泊行事 ○英語学習形態(AET,TT) ○音楽、美術授業の充実 ○学校行事の充実	・情報活用能力の育成 ・情報モラル、マナーの育成 ○職業体験 ○進路学習 ○技術、家庭科授業の充実 ○社会科授業の充実 ○情報モラル・ネチケットの学習	・環境教育 ・ものつくり ・食教育 ・キャリア教育 ・福祉教育 ・安全教育(防犯、防災) ○環境学習 ○生徒会活動 ○食教育 ○安全教育(防犯・防災) ○福祉施設訪問 ○キャリア教育(職業・進路学習)
	☆ 小中 [illegible]	☆ 小・中 部活体験	☆ 小中 授業改善	☆ 小・中 [illegible]	☆ 小・中 情報モラル ルール[illegible]	☆ 小・中 [illegible]
小学校	・ルールを守る規範意識や礼儀の定着 ・環境整備 ○日常の整理整頓	・体力の向上 ○休み時間の外遊びの励行 ○みどりっ子タイム(縄跳び)	・各学年の学習事項の確実な定着 ・読書タイム ○「読む」「書く」「計算」の指導の徹底	・望ましい人間関係づくり ・英語活動、国際理解教室の充実 ○集団活動(各教科、なかよしタイム等) ○体験活動の充実	・情報モラル、マナーの育成 ・情報活用能力の育成 ○ICT学習の充実 ○体験活動の充実	・安全教室の充実 ・福祉教育の充実 ○校内防犯等 ○地域の福祉施設訪問やみどりっ子まつりで高齢者の方々との交流

教科などの指導の重点（重点的課題の解決にあたって重点化する指導内容）

	国語	社会	算数／数学	理科	音楽	図工／美術	体育／保健体育	家庭／技術・家庭	YICA／英語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	個別支援
小・中学校	小 緑小 ○「話す・聞く」「書く」「読む」の様々な活動を通し、問題解決能力を育成する。○様々の人々と交流し、相手や立場に応じて話したり聞いたりする力を育成する。 小 竹山小 ○話す・聞く・書く・読む等の伝達力を高めることで豊かな表現力が育つように取り組みます。 中 ☆基礎、基本的な表現能力を身に付ける○コミュニケーション力の充実★言語感覚を豊かにし実生活に生かす★読書をし理解力を深める。	小 緑小 ○社会的事象を的確に把握し、理論的に思考し表現する能力を育成する。○互いの見方・考え方を認めながら、自分の見方・考え方を補充・修正する。(体験的・問題解決的な学習の充実／論述や意見交換をする活動) 小 竹山小学校 ○人の営みを基に問題解決的な学習展開を図り、社会認識や確かな判断力の育成に取り組みます。 中 ★作業的、体験的な学習や問題解決的な学習の充実★話し合いや論述などの言語活動の充実★伝統や文化に関する教育の充実	小 緑小 ○基礎的・基本的な算数の知識及び技能を習得する。○互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる力を育成する。○新しい問題場面での問題解決能力を身につける。 小 竹山小 ○基礎・基本を身につけ、社会生活に役立つよう数学的な見方・考え方を持つことができるように取り組みます。 中 ★基礎・基本的な知識及び技能の「習得」★基礎・基本的な知識及び技能の「活用」★「横浜型習熟度別指導」の充実 ○実生活に即した課題の追求	小 緑小 ○生命を尊重する態度を養う。○自分の考えの考察や比較をし、問題解決を通して思考力・判断力・表現力を育む。 小 竹山小 ○見通しを持って実験・観察をすることで科学的思考力が育つように取り組みます。 中 ★基礎・基本的な知識及び技能の「習得」★[「読解力」の向上★ものづくりへの関心を高める	小 緑小 ○音楽を愛好する心情と豊かな感性や情操を育成する。○表現技能と鑑賞能力を育成する。 小 竹山小 ○音楽の楽しさ、美しさを味わい生活の中に生かそうとする心情を養うことに取り組みます。 中 ★音楽を愛好する心情と、豊かな感性や情操の育成★音楽活動の基礎的な技能を身に付ける★様々な音楽文化への理解を深める	小 緑小 ○形や色などを基に、自分のイメージをもつことができるようにし、自分の表現を意欲的、持続的に追求する姿を育成する。○自分なりの表現を追求しながら、他者との交流することに通して、他者の表現方法への理解を深め、コミュニケーション能力を育成する。 小 竹山小 ○工夫して造形活動に取り組むことにより豊かな感性や想像する喜びが身に付くように取り組みます。 中 ★基礎・基本的な知識・技能を習得★主体的に自分の表現の主題を追究・探求★共感的支援の充実	小 緑小 ○運動の楽しさを味わい、めあてを持って体力の向上に取り組む態度を育成する。○運動の持つ特性や能力に応じて、基本的な知識や技能を身につけ、運動を豊かに実践することができる能力を育成する。 小 竹山小 ○運動の楽しさや喜びを味わう体験を生かし、自分の生活に運動を取り入れ、健康で安全な生活をしようとする意識が育つように取り組みます。 中 ★運動の楽しさ、喜びを味わう★体力を高め、心身の調和を図る★公正、協力、協同の意欲を高める。 ○基本的な知識、技能を身に	小 緑小 ○衣食住など関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身につける。○家庭生活を大切にする心情を育み、家庭の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。 小 竹山小 ○家庭生活に関心を持ち、生活をよくするために実践的・体験的活動を通してよりよい家庭生活を作り上げようとする態度を育てることに取り組みます。 中 ★生活と技術のかかわり★自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術 ○自ら課題を見いだし問題解決的な学習活動を充実させる。	小 緑小 ○外国語を用いて様々な相手と互いの思いを伝え合う体験を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。○外国語を通して異なる文化を体験的に学ぶことによって、言語や文化の違い共通点を理解する。 中 ★言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成★4技能のコミュニケーション能力の基礎の育成	小 緑小 ○自分のよさを生かし、目標に向かってねばり強くやり遂げる態度を養う。○思いやりや謙虚な心をもち、互いに信頼し合って協力し助け合おうとする態度を養う。 小 竹山小 ○社会の一員として生活していくための道徳的価値の自覚と実践力向上に取り組みます。 中 ★望ましい生活習慣・自主的に考え、行動に責任を持つ★感謝の気持ちをもち、謙虚に他に学ぶ★生命の尊さを理解し、誰に対しても良さを見いだす★協力し合って、集団生活の向上に努める	小 緑小 ○様々な集団行動を通して、自他の可能性や良さに気づき、互いに認め合いよりよくのばし合うことのできる能力を育てる。○自分への自信を持ち、積極的に集団活動に生かそうとする態度を育てる。 小 竹山小 ○自分らしさを発揮するために集団の一員としてよりよい集団生活の実現を図ろうとする意欲が育つように取り組みます。 中 ★望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る★集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築いていこうとする態度を育てる★生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養う。	小 緑小 ○社会の変化に応じて必要となる知識・技能を習得し、その知識・技能を実際の生活や学習において活用できる能力を育てる。○環境教育、キャリヤ教育、食教育、安全教育(防犯・防災)、ものづくり、福祉教育などで、横浜の特色を生かした体験活動や人々との交流を通して、社会の変化に対応できる能力を育成する。 小 竹山小 ○地域や社会に目を向け、多様な学び方で問題解決を図り、自分の思いを自分らしく表現できるようにします。 中 ★横断的・総合的な学習や探求的な学習★自ら課題を見付け、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成★問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む★自己の生き方	小 緑小 ★子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、主体的な活動や体験を通して、社会的に必要な知識、技能、態度及び習慣を身につけさせ、現在及び将来の自立と社会参加の基礎を養う。 小 竹山小★日常生活に必要な基本的習慣や態度、基礎能力、社会生活に参加する能力や態度を養う。健康で明るい生活を営むために必要な心身の諸機能の発達を促す。 中 ★生徒の障害の状態及び成長過程や特性等に応じ、生徒一人ひとりが生きる喜びや充実感を味わい、自分の思いや願いを広げるとともに、社会生活に必要
横浜の時間	★基礎、基本的な知識、技能の習得により「伝え合う力」を高めコミュニケーション力を豊かにしていく★情報社会の中表現力を身につけ実践する★言語を豊かにし、その場に応じた表現力をつける。	★社会的な見方・考え方の育成★社会の形成に自ら参画していく資質や能力の育成 ○社会的事象を比較・関連付け、総合する学習○体験的・問題解決的な学習活動○横浜の伝統や文化の尊重・継承	★基礎・基本的な知識及び技能の習得・活用 ★思考・判断・表現力等を高め、合理・論理的に考察 ★学び合う態度 ○環境教育 ○調べ学習(数学史・地域)→計測・分類・グラフ化・論理性・推測	★自然環境と人々の生活の歴史との関連を学ぶ ★持続可能な環境作りのためにできることは何かを考える★社会生活を支えるために必要な「エネルギー」や「物質」への認識を持つ	★我が国の音楽文化に親しみ、愛着を深める。★我が国や郷土の伝統音楽をとりあげる★体験的・問題解決的な学習を行うことにより、音楽文化と生活についての理解を深める	★創造性をはぐくむ造形体験の充実★美術文化への関心を高め主体的に味わう活動 ○地域の文化・芸術を学習○暮らしの中の生かせる造形 ○生活と社会とかかわり、伝え合う活動	★生涯にわたって運動に親しむ態度を育成★集団的活動を通してコミュニケーション能力を育成★健康、安全に関する理解、自らを改善する資質、能力の育成★自他の生命を尊重し、主体的に他者と関わる態度を育成	★基礎・基本的な知識技能の習得★習得した知識及び技能を活用し思考力・表現力・判断力の育成 ○自らの生活をより総合的にとらえ改善する。	★主体的にコミュニケーションを図る中で、英語を4技能領域にわたり活用できる。★異文化を理解するとともに自国の文化への理解を深め、異なる文化を持つ人々と共に生きようとする態度を身につける	★自主的に考え、誠実に実行しその結果に責任をもつ★自他の生命を尊重する★多様な感じ方、考え方を整理して自己対話をする★話し合いを通してコミュニケーション能力を育成する★人間としてよりよく生きていく道徳的実践力の育成	★文化的な行事において活動の成果を発表する場としての活動★遠足・旅行・集団宿泊的行事において自然や文化にふれ、目的地で学習や探求的な活動る活動★勤労生産・奉仕的活動において勤労体験や地域社旗に貢献する活動	★「横浜(まち)の自然や社会、人」とかかわりながら体験的・問題解決的な学習★各教科等で習得した力を相互に関連付け実際の生活場面で活用し課題解決に向け探求的な学習活動 ○環境○伝統文化○平和学習○職業体験○生き方教育	★将来の自立と社会参加を目指すために、主体的に問題解決に取り組む資質や能力、態度を育てる。人と関わり合いながら身近な問題を解決しようとする意欲や考える力や身につけた知識や技能を主体的に活用しようとする力を育てる

具体的取組（重点課題の具現化のため計画的に推進する取組）

	『横浜の時間』の創設	小中学校英語教育の推進	読解力向上に向けた横浜型指導モデルの推進	1人ひとりのニーズに対応した教育の実現
小学校	○地域の特色を生かし、地域とかかわりながら、体験的・問題解決的な学習活動えお行い、めざす「横浜の子ども」の育成の実現をめざします。	○YICAや国際理解教室で英語に慣れ親しみ、国際社会の中でも進んで人と関わろうとするコミュニケーション能力を育成します。	○朝読書の時間を設定し、本を読む習慣を身につけさせ、読む力、読み取る力を育てます。○学校図書館の機能の充実を図ります。○国語科授業の充実を図ります。○全教科を通して読解力を育成します。	○多様な児童の行動に対して効果的な指導を行うために、子どものたちに寄り添い、児童理解の充実を図ります。○特別な支援の必要な児童に対して計画的な指導体制のもと支援に当たります。○少人数指導、習熟度別指導の取り入れ、個々の児童に応じられる教科指導の充実を図ります。
校	○「ネイチャー」、「カルチャー」、「フューチャー」の3つの課題に取り組むことにより、地域とかかわりながら、体験的・問題解決的な学習活動を行い"横浜の子ども"の姿の実現をめざします。	○「横浜国際コミュニケーション活動・YICA」→小学校の「聞く・話す」の学習に、中学校の「読む・書く」の学習を加え、「スピーチカ」「リベートカ」を伸ばし、より高いコミュニケーション能力を育成します。	○「読書」読む習慣と、読解力の向上を図ります。 ○学校図書館の機能の充実を図ります。 ○国語科授業の充実を図ります。 ○全教科を通して「読解力」を育成します。	○「学習相談」、「教育相談」、「個人面談」等個々のニーズを受け入れる体制の充実を図ります。 ○個々の生徒に応じた支援を行うための特別支援教育の充実を図ります。 ○外部機関との連携を図る等の幅広い対応の実践を推進します。